



次回のこの欄に登場するのは、あなたかも？
身近なニュース、まちの話題などをお知らせください
☎情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)



◀ 谷澤さん(左)と
いっしょに参加し
た河合純次さん

犬上川で魚を捕るセヴァンさん(左)。魚はみんな観察した後、川へ逃がしました。



「きれいな犬上川を守っていききたい」

城陽小学校6年 谷澤佑一さん

環境保護を訴えて世界的に活躍しているセヴァン・スズキさんが、城陽小学校のウィークエンド・クラブに来てくれました。

セヴァンさんは日系カナダ人の22歳です。9歳の時にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開かれた「地球環境サミット」に参加し、世界の国々を代表する人たちの前で演説して、世界的に有名になりました。

11月23日のウィークエンド・クラブには、城陽や若葉の小学生や、県立大、滋賀大の学生さんなど、15人くらいが参加しました。インターネットのホームページを見た愛知県日進市の小学生も来ていました。学校に集合した後でみんなで犬上川に行き、川に入って魚を捕りました。網を持って何回かすくくと、ヨシノボ

リヤアユが捕れました。魚を捕って遊ぶことはあまりないので、とても楽しかったです。

その後、学校でスライドを見ながらセヴァンさんのお話を聞きました。セヴァンさんの撮ったカナダやアマゾン風景は、とてもきれいでした。

セヴァンさんは、「私たちは食べ物などで自然とつながって生きているのに、今の人々はそれを忘れていく。今日のように自然のなかで遊んで、自然と親しむことが、自然環境を守る第一歩」と話してくれました。どうすれば自然が守れるのかまだ分かりませんが、リサイクルを心がけたり、ごみを出さないようにしたりして、自分にできることはしてみようと思いました。

「子どもも大人も、存分に楽しんだ交流会」

宮元全子さん(高宮町)

12月1日、高宮地域文化センターで学区青少年育成協議会主催の「三世代交流会」が開催されました。親子・孫のそれぞれの世代が、餅つきや伝統的な遊びを通じて交流を深める、地域をあげての催しです。今年で14回目を迎え、一人暮らしのお年寄りから小学校6年生まで、合わせて約160人が集まりました。

午前中は餅つきです。うるち米を混ぜたものは五平餅に、餅米だけのものはぜんざいや雑煮にします。くどにまきをくべ、用意した約70kgの米を次々に蒸しました。お米が蒸し上がると臼に移し、杵でつきます。子どもたちはあまり経験がないのですが、おじいさんおばあさん世代の方が丁寧に教えると、力の強い子は「スパーン」といい音を立てて、上手に杵を振り下ろ

せるようになりました。五平餅は炭火で焼き、特製のみそをつけて食べました。ぜんざいやお雑煮も、みるみるうちになくなりました。

午後は、子どもたちが高宮について授業で調べた結果を発表したり、お手玉やあやとり、囲碁、将棋などで遊んだりして交流を深めました。

10年ほど前、私の息子もこの催しで将棋を指したのがきっかけで、その後お年寄りのお宅に伺って将棋を教えるもらうなどと、親しくしていただきました。ふだんの生活ではなかなかそういう機会はなく、私にも息子にもとてもよい思い出になっています。今日いっしょに参加した子どもたちが、まちで声をかけてくれるかな、と楽しみにしています。



宮元さん▶

▼「杵はこうやって持つのよ」と餅つきのコツを教わる子ども

